平成 26 年度事業報告書

平成 27 年 6 月
公益財団法人 高原環境財団

当財団は、平成 20 年 11 月 25 日に環境省より設立許可をいただき、特例民法法人として設立されましたが、今般の公益法人制度改革に伴い、平成 24 年 4 月 1 日より公益認定法人に移行しました。公益財団法人として 3 年目である平成 26 年度（平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月）の事業状況は、次のとおりであります。

１．理事会・評議員会開催状況

(1)第 10 回理事会（平成 26 年 6 月 4 日、決議の省略）

【主な決議事項】

・平成 25 年度事業報告承認
・平成 25 年度決算書承認
・第 4 回評議員会招集承認

(2)第 4 回評議員会開催（平成 26 年 6 月 24 日）

【主な報告・決議事項】

・平成 25 年度事業報告報告
・平成 25 年度決算承認
・理事 5 名選任
・監事 1 名選任

(3)第 11 回理事会開催（平成 26 年 6 月 24 日）

【主な決議事項】

・理事長選任
・平成 26 年度助成事業決定

(4)第 12 回理事会（平成 26 年 12 月 16 日、決議の省略）

【主な報告・決議事項】

・平成 26 年度助成事業進捗報告
・平成 27 年度助成事業選考委員選任
・平成 27 年度助成事業選考委員長選任

・平成 27 年度助成事業募集要項承認

・平成 27 年度助成事業選考委員会評価基準承認

(5)第 13 回理事会開催（平成 27 年 3 月 26 日）

【主な報告・決議事項】

・平成 26 年度助成事業実績報告

・平成 27 年度事業計画承認

・平成 27 年度収支予算承認

・平成 27 年度資金調達及び設備投資計画承認

２．助成事業

(1)平成 26 年度助成事業

①募集業務

平成 25 年 12 月 24 日開催の理事会で、平成 26 年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成 26 年当初より平成 26 年度の助成事業の募集業務を本格的に開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

②応募受付

平成 26 年 5 月 23 日の締切日までに、緑化を伴うヒートアイランド対策に 3 件、子供たちの環境学習活動に 37 件の応募がありました。

③助成事業決定

平成 26 年 6 月 16 日に開催の選考委員会において審査の結果、緑化を伴うヒートアイランド対策 2 件、子供たちの環境学習活動 18 件が助成を行うに相応しい事業として選定され、理事長宛に報告されました。

この報告を受け同月 14 日開催の理事会において、平成 26 年度助成事業が決定されました。

④助成事業実績

助成事業採択された事業者には平成26年6月24日付で決定通知を送付し、その後各事業者により事業が実施されました。

採択された各事業者によって、それぞれ事業が進められましたが、緑化を伴うヒートアイランド対策において、事業者の都合による助成金辞退が発生しましたが、それ以外の事業においてはほぼ予定通り事業が完了しました。これにより平成27年3月までに9,351,000円の助成金支払いを行いました。助成事業の実施実績は別表「高原環境振興財団 平成26年度 助成事業一覧」のとおりです。

(2)平成27年度助成事業

・募集業務

平成26年12月16日開催の理事会で、平成27年度助成事業募集要項等事業の詳細が決定されたことを受け、平成27年当初より平成27年度の助成事業の募集業務を開始しました。緑化を伴うヒートアイランド対策、並びに子供たちの環境学習活動の関係団体等を訪問して資料を配布するとともに、当財団のホームページ、関係団体等からの情報発信、電子メールや電話による質疑応答などにより助成事業の広報に努めました。

以　上

公益財団法人高原環境財団　平成26年度　助成事業一覧

(単位 :円)

緑化を伴うヒートアイランド対策事業

決定番号	事業名	申請額 円)	申請者	主な事業地	事業内容	事業完了日	助成金額
26-101	保育園　園庭整備事業 森づくり)	2,000,000	社会福祉法人小松市大和善隣館 大和保育園 理事長　伊藤　貞之	石川県小松市	15種類の樹木、四季折々の花、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｶﾊﾞｰで園庭を緑化、築山周辺も緑化を推進、平地にはしろつめ草等を生やし、砂場や遊具のそばには木を植えて木陰を作り、安全な環境に配慮した園庭とする	9月30日	2,000,000
~~26-102~~	大和高田市クリーンセンター 空地の多年草 ･芝生の植栽	378,000	NPO法人グリーンスポーツ奈良 理事長　吉田　征八郎	奈良県 大和高田市	7月初旬ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱと協働で花壇づくりを行うとともに、50cm 間隔で穴を掘り、芝苗750株を移植し、育成する。10月冬芝の種を蒔きｵｰﾊﾞｰｼｰﾄ｡し、育成する	予定地の使用が先方都合により不可となり辞退	
	小　計	2,378,000					2,000,000

子供たちの環境学習活動事業

26-201	学校ビオ トープを活用した 地域との協働による環境学習	280,000	南白糸台小学校せせらぎ広場 運営協議会 代表　大間　　努	東京都府中市	ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟでﾌｻﾋﾞ､ｲﾈ､ｼｲﾀｹの栽培を農家の指導を受け植付けから収穫まで行う。また地域の原風景を取戻す活動としてｹﾝｼﾞﾎﾟﾀﾙの育成を地域住民と共に行う。水の循環と生物保全を考えるｲﾍﾞﾝﾄも実施	12月4日	280,000
26-202	心身障害児及び保育園児の 子ガメの観察会	500,000	NPO法人 サンクチュアリエヌピーオー 理事長　馬塚　丈司	静岡県浜松市	①砂浜自然観察体験でｻﾝﾄﾞｾﾗﾋﾟｰ効果を与える、②ﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝｱｯﾌﾟを行いｺﾞﾐが野生生物に与える悪影響を説明、③子ガメが生まれる保護柵見学会実施、④子ガメ観察会で生まれた子ガメを放流	11月13日	500,000
26-203	奈良市立認定こども園 都跡幼稚園 ･緑の園庭づくり	482,000	奈良市立認定こども園都跡幼稚園 園長　松本　知子	奈良市	①子供達及び職員、地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによる植物苗 ･樹木の植え込み、植物の生育管理の継続、②種子、果実の収穫、③ﾄﾏﾄ･ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ (ﾄﾏﾄの栽培と収穫、ｼﾞｭｰｽ加工販売など) の継続/販売収益は寄付	12月27日	482,000
26-204	いのちのタイムカプセル ～未来のむこんしょの自然のため に今種をまく～	480,000	尼崎市立武庫庄小学校 校長　阿部　壮一郎	兵庫県尼崎市	里山ﾋﾞｵﾄｰﾌﾟをつくり地域の自然を復元、川、湿地帯、野草園、ﾐﾆ棚田、畑などを造成し遊歩道や掲示板等もつくる、自然体験や環境学習、食農教育の場として活用、地域生態系ｾﾝﾀｰ的役割も	3月10日	479,000
26-205	里山ふれあいプロジェクト2014	230,000	NPO法人フォレスターズかがわ 理事長　北川　紀吉	香川県内 保育園 ･幼稚園	ﾋﾉｷの間伐材で輪切りを作り、それをｸｰﾙに木と森と山の話しをする、子供のﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽで木の成長を表現、成長を促す間伐の必要性を示す、年輪を数えたり匂いでﾋﾉｷを感じ、工作にも活用	3月6日	230,000
26-206	棚田でお米を作ろう	400,000	こどもエコクラブにこにこキッズ 渡辺　真理	兵庫県市川町	7月、9月、12月に各1回活動を実施、①棚田でお米を作ろう 草刈り、稲刈り、収穫祭)、②棚田の自然の中で生き物と遊ぶ　虫取り、魚とり、カニとりなど)、③都市農村の交流を図る	1月5日	360,000
26-207	アマモに学ぶ思いやりの 里海づくり ～ゆりかごから畑まで～	500,000	呉市市民公益活動団体Team JIN (仁」 会長　平中　哲朗	広島県呉市	①県海洋技術ｾﾝﾀｰ講師よりアマモの生態につき学習、②呉市環境市民の会講師よりアマモの利用方法につき学習、③アマモ塩づくりを体験、④ｼｰｶﾔｯｸで無人島に上陸、海岸の清掃活動を実施	2月25日	500,000
26-208	和泉葛城山のﾌﾞﾅ林を学ぼう ～フィール ドとこどもをつなぐツール の開発と実践～	500,000	きしわだ自然友の会 会長　楠本　　勝	大阪府 岸和田市	ﾌﾞﾅ林がある和泉葛城山の自然環境を学ぶﾂｰﾙを開発、一部は現地で観察可能な仕様とし、きしわだ自然資料館に来場する子供に配布、その他は展示内容の理解を補ｳﾂｰﾙとして会場で使用	3月7日	500,000
26-209	｢子どものエコライフ｣学習会	500,000	NPO法人エコライフ生駒 代表理事　桐木　　肇	奈良県内の 小学校	小学4～6年生に、①事前学習会－夏(冬)休み前に地球環境の現状を学ぶ、②夏(冬)休み期間の学習－親と一緒に家庭のｴｺﾗｲﾌを実践、③振り返り学習会－ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸで今後の行動につき議論	3月13日	500,000
26-210	フィール ドクラブ 耕作放棄地de昆虫図鑑」	322,000	一般社団法人 サステナビリティ･エンパワーメント 代表理事　杉浦　正吾	千葉県柏市	触れる ･作る ･学ぶ ･食べる ･遊ぶ ･楽しむをﾓｯﾄｰに、耕作放棄地で専門家の指導のもと観察 ･記録 ･撮影を行い、記録管理やﾃﾞｼﾞｶﾒ撮影の体験を通し観察力、洞察力など研究の基礎的視点を養う	3月13日	322,000
26-211	子どものためのイベント型自然体験 自然と遊ぼう! ～そして自然がすきになる～	230,000	幼児野外活動　お天道さま 代表　馬場　まゆみ	宮城県石巻市	月1回、計8回開催、自然遊び､ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ　自然を直接体験、自然への共感を育み一体感を得ることができる体験型環境教育)を中心とした活動を提供、同時に清掃活動を行い地域美化に努める	1月4日	154,000
26-212	庄内小学校 ビオ トープ再生プロジェクト	500,000	都城市立庄内小学校 校長　逆瀬川　秀夫	宮崎県都城市	①水道管敷設　水源は井戸)、②現行表土除去、③防水ｼｰﾄ敷設、④揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ設置、⑤表土埋戻し･石や植物設置、作業は保護者、教職員、地域ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱで実施、完成後は各学年の環境学習に活用する	3月10日	500,000
26-213	ビオ トープで森づくり	490,000	一般社団法人ビオ トープ 代表理事　中田　　稔	和歌山県 印南町	①環境学習－ほたるの幼虫とカワニナの放流 ･アイガモの無農薬お米づくり、②里山体験－ビオ トープで森づくり ･生き物観察	3月9日	490,000
26-214	東山こどもガイド2014	400,000	NPO法人東山動物園くらぶ NPO法人スタッフ 久保　統生	名古屋市	小学4～6年生に、1日目は動物の学習 ｳｰｸｼｰﾄによる基本情報 ･飼育員の協力で飼育体験 ･行動観察、2日目はｶﾞｲﾄﾞ準備・動物模型やｳｲｽﾞﾊﾞﾈﾙの作成 ｶﾞｲﾄﾞﾘﾊｰｻﾙ、3日目は来園者の前でｶﾞｲﾄﾞ実施	11月9日	349,000
26-215	幼児 ･児童が一年間行う無農薬 有機栽培による野菜作りを 通して学ぶ環境学習	500,000	NPO法人地球環境再生機構 理事長　森下　恭子	大阪府茨木市	①有機堆肥づくりを通し循環型社会を学ぶ、②収穫した無農薬野菜を食べ食の大切さを認識、③食を通じて動植物が共存 ･競争する生物多様性を学ぶ、④家族も一緒に取り組み世代間知識共有を図る	3月11日	500,000
26-216	地球を救え！水と森を守り隊	400,000	福山市立駅家西小学校 学校長　松岡　誠治	広島県福山市	総合的な学習の時間を利用して、①河川浄化施設見学、②芦田川の水質調査、水生生物採集、③森の中での体験活動、植林活動、④学校給食の牛乳パック回収活動、リサイクル工場見学を実施	3月13日	400,000
26-217	生き物を慈しむ心を育む 乳幼児親子自然遊び	500,000	一般社団法人　遊心 代表理事　峯岸　由美子	東京都 台東区　文京区	各回0～3才の親子15組、週末の午前中1.5時間、3回連続で1ｾｯﾄを各会場1回　計6日間)、1日目 :自然に親しむ　色や形を観る)、2日目 ･植物 ･虫に触れる、3日目 :動物を観察する	1月26日	424,000
26-218	富士山の　森で小学校」	381,000	富士山アウトドアミュージアム 代表　舟津　宏昭	山梨県富士吉田市、富士河口湖町、鳴沢村	富士山麓周辺の公園やキャンプ場でｱｲｽﾌﾞﾚｲｸ、ﾈｲﾁｬｰｹﾞｰﾑ、森の中のﾄﾚｯｷﾝｸﾞ、ｳｫｰｸﾗﾘｰ、ほうとうづくり、草木染め体験、洞窟体験、植物昆虫観察、水質調査、清掃活動、登山等の体験活動を行う	12月17日	381,000
	小　計	7,595,000					7,351,000

申請額　合計		9,973,000			助成金支払額　合計	9,351,000